

# つやぎき郷づくり NEWS



沢山の生き物を見入る子どもたちと親切に説明する  
高校生の皆さん



『海の生き物博士になろう!』  
開催しました

津屋崎地域郷づくり推進協議会では、夏休み期間中の子どもの居場所教室として、7月31日(水) 鮎「海の生き物博士になろう」を開催しました。昨年は、夏の暑い時期に海岸(現地)での開催でしたが、高温が続く時期は現地では難しいだろうとの判断から、室内に変更しました。全面的に協力をしていただいた福岡県立水産高等学校の先生や生徒さんをはじめ、津屋崎中学校ボランティア部の皆さんの協力もあり、楽しいひと時を過ごすことができました。

## 水産研究部の高校生

昨年も協力してくれた地元3年生から少しお話を聞くことができました。『学校から水槽や生き物を運ぶことが初めてでした。会場のレイアウトを考えたり、どんな魚を準備したらいいか考えることが難しかったです。会場で隠れているエビを見つけるのに30分くらいかけている小学生が可愛かったです。』などの感想が聞きました。

水産高等学校の水産研究部の皆さん



津屋崎中ボランティア部の皆さん



中学生ボランティアの声

津屋崎中学校のボランティア部の皆さんもお手伝いに来てくれました。『小さな子どもたちと関わったり、魚をさわったりして、水産高校の方々いろいろな教えていただきました。とても貴重な体験ができました。全部、津屋崎の海や川でとれる魚(約34種類)とのことでしたが、見たことない魚ばかりでびっくりしました。実際に触れることができ、楽しかったです。』などの感想が聞きました。



## 今後の行事予定

### 第3回 おまつりばやし

10月27日(日) 10:00~

会場:新浜山ハーモニー広場



### ふくつ散歩

9月30日(月)

津屋崎千軒なごみ  
本年度の申し込みは終了しました



今年、国の重要文化財に指定された旧醸造場を見学する参加者  
(昨年の様子)

### 手づくり市

10月13日(日)



工夫を凝らした手づくりの品物が数多く店先に並びます。  
(昨年の様子)

### 音楽散歩

10月14日(月・祝)



路上ライブで楽しむ皆さん  
(昨年の様子)

### プリンセス駅伝in宗像・福津

10月20日(日) 12:10~宗像ユリックスをスタート!!

#### コース清掃

日時:10月19日(土)  
午前9時から

集合:カメラステージ  
図書館裏駐車場



おもてなし看板  
(昨年のカメリアステージ図書館前の様子)

#### おもてなし

日時:10月20日(日)  
正午から

カメラステージ図書館前

★コースを激走する選手の皆さんへの声援をお願いします

### 福津市一斉防災訓練

11月9日(土)

全国的に災害が多くなってきました。今年もいざという時に備えて、皆さんご参加をお願いいたします!

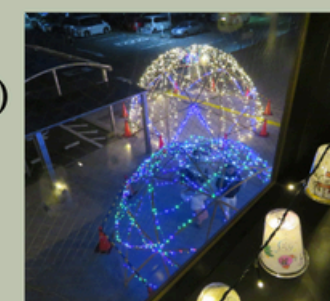


中学生と連携して訓練を行います。  
(昨年の様子)

### 小さな灯り展

12月21日(土)

幻想的な灯りを生み出すスタードーム  
(昨年のカメリアホール前の様子)







夏休み子どもの居場所教室



ラジオ体操やっています



昔話のお話し会  
8月7日(水)



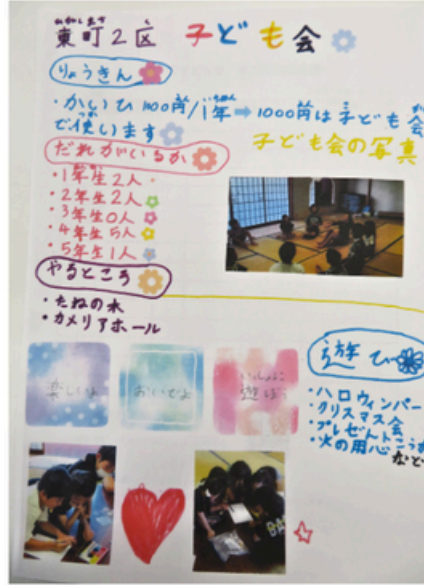
昔なつかし紙芝居  
8月5日(月)



お年寄りから子どもまで一層のふれあいを深め、夏の夜を楽しく過ごすことを目的として、8月3日(土)午後6時から公民館前の広場で実施されました。25年前に始まったもので、約350人の参加がありました。世代間交流や地域の結束力が表れた見習うべき行事となっています。

新東区納涼夏祭り

子どもだけで作ったニュースです。子どもを中心とし2カ月に一度、活動をしています。



東町2区子ども会活動

大学生、来訪



7月31日、津屋崎千軒を散策後、津屋崎郷づくり交流センターにて楠田会長から「真の自治とはなんだろうか?」という大きな問いから始まり、①資金の問題②自治会加入者の減少・担い手の減少③地域のためになるイベントを考える難しさ等、地域が抱える深刻な課題についての説明がありました。その後、大会議室で「持続可能な地域に必要な条件とは何か。自分たちでできることは何か」熱心に議論していました。

下関市立大・長崎県立大の合同ゼミ研修実施



復活50周年の津屋崎祇園山笠!!



津屋崎祇園山笠振興会  
会長 花田 実さん

皆さんこんにちは。津屋崎祇園山笠が復活50周年を迎えました。また、津屋崎の地に祇園社が楠田神社より勧請されて以来310年になります。この歴史ある津屋崎の山笠を未来へ繋いでいく為には山笠のしきたり・歴史を重んじることはもちろんですが、その時代にあった山笠を目指し、若手・子どもたちの育成に努めていかなければなりません。その為にも、皆さまのご理解・ご協力・ご支援をよろしくお願い致します。郷づくりニュースに津屋崎祇園山笠を特集して頂いたことを感謝すると共に、皆様のご健康とご多幸を祈念してあいさつとさせていただきます。



津屋崎にもうひとつの裸参りがあることをご存じですか?7月20日(土)午後6時から関係者が集まるのは橋崎神社境内にある須賀神社です。神聖な神事が執り行われ、その後、渡橋袂の海岸の海水で身を清め、約1時間かけて地域を提灯をかざして回ります。農業が生業の中心であったことで、山笠は岡流れに参加していたそうです。いつからかは不明ですが、現在は北流れに参加しています。地域に勢いがあり若い人たちも多かったところは、山笠を渡橋を越えようとして制止されたこともありましたが、と、地域をまとめる自治会長さんは懐かしそうに語ってくれました。

もうひとつの裸参り